



病児保育は子育てファミリーの
新しいライフラインです

2006年6月8日(No.8)

報道関係者各位

東京都中央区新川2-5-1 PSAビル305
担当:岡本 03-3206-2604(電話)
03-3206-3049(FAX)
info@florence.or.jp



【日本初】「地域密着型病児保育」のノウハウを 和歌山県のNPOに注入！ ～安全・安心な病児保育の普及を目指して～

NPO法人フローレンス(代表駒崎弘樹・東京)は、約1年間無事故で実施してきた地域密着型病児保育ノウハウを、6月末より和歌山県のあるNPOへ提供することとなりました。

働く親にとって、風邪をひいた子どもの預け先がない「病児保育問題」が仕事と育児の両立を阻む壁となり、社会問題として注目を集めています。そんななか厚生労働省は、2006年4月より「緊急サポートネットワーク事業」を開始。在宅型の病児保育がメインの内容で、同省が実施計画を認めた社会福祉法人などに委託する補助金事業として全都道府県での実施を進めています。現段階では24都道府県での実施が決まっていますが、実施への壁は高く、16府県においては導入の見通しが立っていないという現状にあります。

導入を難しくしている要因は、主にリスクマネジメントです。子どもの病状は急変しやすいという特徴があるため、家庭内で病児を預かる際には緊急時に対応できる、安全な医療体制を整えることが必要不可欠です。

2005年4月より地域密着で在宅型病児保育サービスを実施しているNPO法人フローレンスには、緊急サポートネットワーク事業の受託者からの問い合わせが相次いでおり、このたび、NPO法人Com子育て環境デザインルーム/コムデザイン(代表松本千賀子・和歌山)へ、施設を持たない病児保育のノウハウ提供を行うこととなりました。6月末日より、リスクマネジメントや保育スタッフ教育などのノウハウを一部提供するほか、安定的な運営を可能にするべく、現場に即した様々なノウハウの提供を行います。

* NPO法人Com子育て環境デザインルーム/コムデザイン・・・
和歌山県で緊急サポートネットワーク事業を行なうNPO法人。同団体代表は、厚生労働省委託事業であるファミリーサポートも行なう子育て支援のベテラン。今年4月より、本部そらまめhouse、サテライト海南、サテライト橋本を組織し、開業準備している。<http://www.comdesign-npo.com/kiinokuni/>

フローレンスの地域密着型病児保育ノウハウを、他の地域で病児保育に取り組む団体へ提供し、活かすことにより、新しい病児保育のしくみを安全・安心に実施し、社会的インフラとして全国に広がるようサポートして参ります。

NPO法人フローレンス

「子育てと仕事そして自己実現の全てに誰もが挑戦できる、しなやかで躍動的な社会」を目指しています。2005年4月、地域の子育てベテランママや小児科医と力を合わせ、家庭で病児をケア保育するという全く新しい**地域密着型病児保育**のしくみを、**全国で初めて**事業化し、東京都江東区・中央区で展開しています。



特定非営利活動法人フローレンス

<http://www.florence.or.jp/>